

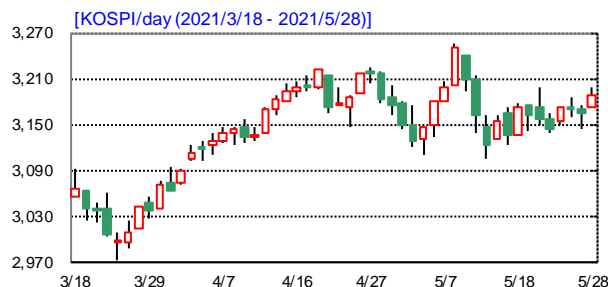


【韓国】 総合指数は週間で1.0%高と続伸、今週は神経質な展開か

先週の動き／今週の展望

総合指数は週間で1.0%高と続伸。週明け24日は暗号資産（仮想通貨）の相場急落が嫌気されて3営業日続落した。25日は、米FRB高官がハト派的な金融政策の立場を再確認したことでインフレ懸念が弱まり、米株高に追随した買いが入った。ただ、その後に景気拡大見通しから各国の中央銀行が緊急経済対策の縮小を検討するとの観測が浮上。26-27日は小幅ながら続落した。韓国銀行（中央銀行）が27日の声明で2021年の経済成長見通しを4%に引き上げたことも、早期の利上げ警戒感につながったもよう。28日は米失業保険申請件数が予想よりも良好だったことで3日ぶりに反発。終値は今年11日以来の高値だった。今週は神経質な展開か。心理的節目の3200ポイント付近で上値が重くなる展開が予想される。

▼指数チャート

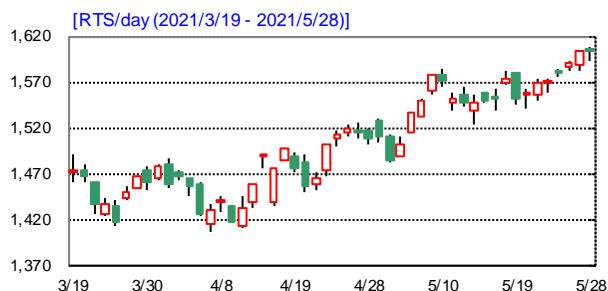


【ロシア】 RTS 指数は週間で2.2%高と続伸、今週も原油相場をにらんだ展開か

先週の動き／今週の展望

RTS 株価指数は週間で2.2%高と続伸。原油高や世界銀行の原油価格見直し引き上げに加え、ルーブル高が好感された。世界銀行は2021年の原油価格についての予想を修正し、従来の1バレル44ドルから56ドルに引き上げた。2022年についても50ドルから60ドルに上方修正している。こうした見直しを受け、RTS指数は前週の20日から28日まで7営業日続伸。27日に2020年1月以来となる1600ドル台を回復し、28日には1603.79ドルで週の取引を終えた。通貨ルーブルが対ドルで0.7%上昇したこともドル建てで取引される指数を押し上げた。個別では、エネルギーのノバテックが3.7%高、ルクオイルが2.7%高となり、金融のズベルバンク・オブ・ロシアが2.8%上昇した。今週は引き続き原油相場の動向が焦点か。

▼指数チャート



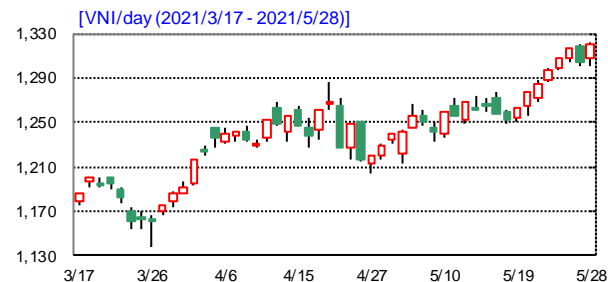
【ベトナム】 ベトナム指数は週間で2.8%高と4週続伸、今週も先高観を背景に堅

調か

先週の動き／今週の展望

VN指数は週間で2.8%高と4週続伸。先高観を背景に国内勢の買いが続き、過去最高値を更新した。前週に1カ月ぶりに最高値を更新したVN指数は週明け24日に前営業日比1.1%高と上昇。海外勢の売り越しが続く中、国内勢の買いが銀行、素材、不動産の主力株に向かった。指数は25日に初めて終値で1300ポイントを上回り、26日には海外勢も買い越しに転じた。27日は7営業日ぶりに反落したものの、28日は反発し、場中に1323.09ポイントまで上値を伸ばした。個別ではベトナム・ラバーが13.4%高と急伸したほか、軍隊商業銀行が8.8%高、ベトインバンクが6.1%高、ベトナム投資開発銀行が5.4%高、テクコムバンクが4.3%高と上昇し、サイゴンビール・アルコール飲料は7.5%高。今週も先高観を背景に堅調か。

▼指数チャート

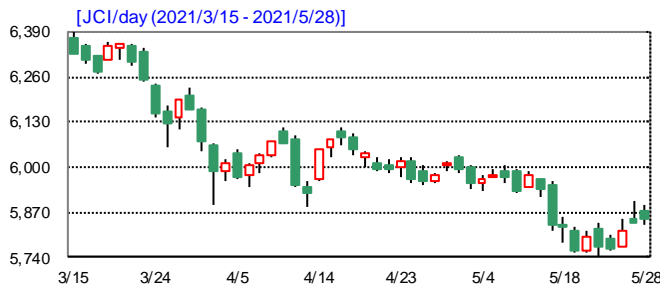


【インドネシア】

【先週の動き／今週の展望】ジャカルタ総合指数は 1.3%高、中央銀行が 3 会合連続で政策金利の据え置きを決定

ジャカルタ総合指数は 4 日間の取引で 1.3%高と反発。前週の反動でおおむね堅調な値動きだった。週初の 24 日は中央銀行の金融政策決定会合を翌日に控えた様子見で指数は続落。一方、25 日は政策金利が過去最低水準の 3.50%に据え置かれたことで金融株が買われて反発すると、祝日を挟んだ 27 日は、中国株の上昇に連動して上値を広げた。結局、28 日まで 3 日続伸して取引を終えている。今週は 2 日に 5 月の CPI が発表される予定。外部要因では、中国の 5 月の公式製造業 PMI と財新製造業 PMI が市場予想を上回れば株式相場の追い風か。1 日は「パンチャシラ（建国 5 原則）の日」の祝日で休場となる。

▼指数チャート

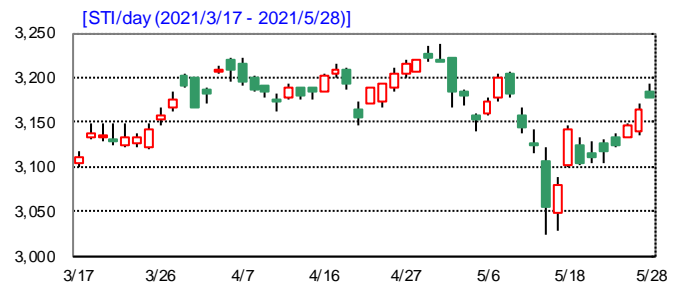


【シンガポール】

【先週の動き／今週の展望】ストレーツタイムズ指数は 1.9%高、1-3 月期の GDP 確定値の上振れを好感

ストレーツタイムズ指数は 4 日間の取引で 1.9%高と続伸。前週の勢いを引き継ぎ、じりじりと上値を広げた。週初の 24 日は 4 月のコアインフレ率が 3 カ月連続で前年同月の水準を上回ったことが買い材料視されて、指数は 3 営業日続伸。25 日は 1-3 月期の GDP 確定値が前年同期比 1.3%増と、速報値の 0.2%増を上回った効果で買い優勢となった。祝日を挟んだ 27 日も上昇が続くと、28 日は 8 億シンガポールドル相当の経済支援策が発表されたことが好感され、結局、6 営業日続伸して取引を終えている。今週は 2 日に 5 月の製造業 PMI、4 日に 4 月の小売売上高が発表される予定で市場予想を上回れば好材料。

▼指数チャート

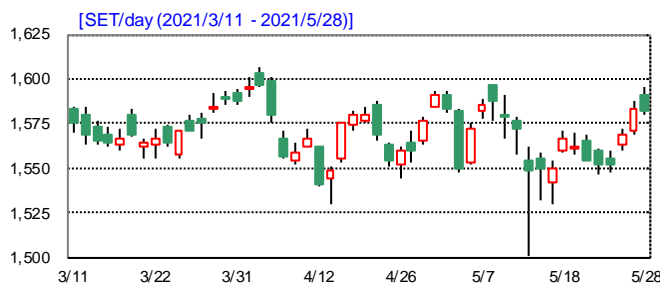


【タイ】

【先週の動き／今週の展望】SET 指数は 1.9%高、原油価格上昇でエネルギー株に買い

SET 指数は 4 日間の取引で 1.9%高と続伸。原油価格の上昇が指数を押し上げた。週初の 24 日は 4 月の貿易収支（通関ベース）が市場予想から上振れたものの買い材料視されず、指数は小幅ながら 4 営業日続落。一方、25 日は原油価格の上昇を受けてエネルギー株が指数上昇をけん引し、前日比 1.1%高と反発した。祝日を挟んだ 27 日も買い優勢の展開が続いたが、28 日は利益確定売りで反落して取引を終えている。今週は 31 日発表の 4 月の鉱工業生産に対する市場の反応が焦点。外部要因では、1 日に開催される OPEC プラス閣僚級会合の内容が指数を左右する展開か。3 日は王妃誕生日の祝日で休場となる。

▼指数チャート

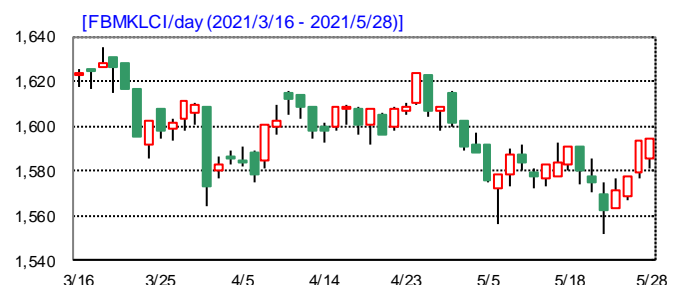


【マレーシア】

【先週の動き／今週の展望】クアラルンプール総合指数は 2.1%高、今週は 1600 ポイント回復に期待

クアラルンプール総合指数は 4 日間の取引で 2.1%高と 5 週ぶりに反発。週初から 4 日続伸と堅調だった。週初の 24 日はアジアタ・グループなどの「売られすぎ」とみられる銘柄が買われ、指数は 4 営業日ぶりに反発。25 日は引け際に買いが集中して続伸すると、祝日を挟んだ 27 日は、1-3 月期の企業決算に対する期待感から買い優勢の展開となり、前営業日比 1.0%上昇した。28 日は 4 月の輸出入額がともに市場予想から上振れたことが好感され、終値で 4 週間ぶりの高値を更新している。今週は国内の経済イベントが少ない中、節目の 1600 ポイントを回復できるかが焦点。31 日は収穫祭のため休場となる。

▼指数チャート



本レポートは、株式会社 DZH フィナンシャルリサーチ（以下、「DZH」と称します）により作成されたものです。

本レポートは、DZH が信頼できると判断した各種データ、公開情報に基づいて作成しておりますが、DZH はその正確性、完全性を保証するものではありません。

ここに示したすべての内容は、DZH で入手しえた資料に基づく現時点での判断を示しているに過ぎません。

DZH は、本レポート中の情報を合理的な範囲で更新するようしておりますが、法令上の理由などにより、これができない場合があります。

本レポートは、お客様への情報提供のみを目的としたものであり、特定の金融商品の売買あるいは特定の金融商品取引の勧誘を目的としたものではありません。

また、本レポートによる情報提供は、投資等に関するアドバイスを含んでおりません。

本レポートにおいて言及されている投資やサービスは、個々のお客様の特定の投資目的、財務状況、もしくは要望を考慮したものではありませんので、個々のお客様に適切なものであるとは限りません。

本レポートで直接あるいは間接に取り上げられている金融商品は、株価の変動や、発行者の経営・財務状況の変化及びそれらに関する外部評価の変化、金利・為替の変動などにより投資元本を割り込むリスクがありますが、DZH は一切その責任を負いません。

DZH は、レポートを提供している証券会社との契約に基づき対価を得ております。

DZH およびグループ会社は、本レポートの論旨と一致しないレポートを発行している場合があります、また今後そのようなレポートを発行する場合があります。

DZH、グループ会社およびその役職員は、本レポートに記載された金融商品について、ポジションを保有している場合があります。

本レポートでインターネットのアドレス等を記載している場合がありますが、DZH 自身のアドレスが記載されている場合を除き、ウェブサイト等の内容について DZH は一切責任を負いません。

本レポートの利用に際しては、お客様ご自身でリスク等についてご判断くださいますようお願い申し上げます。